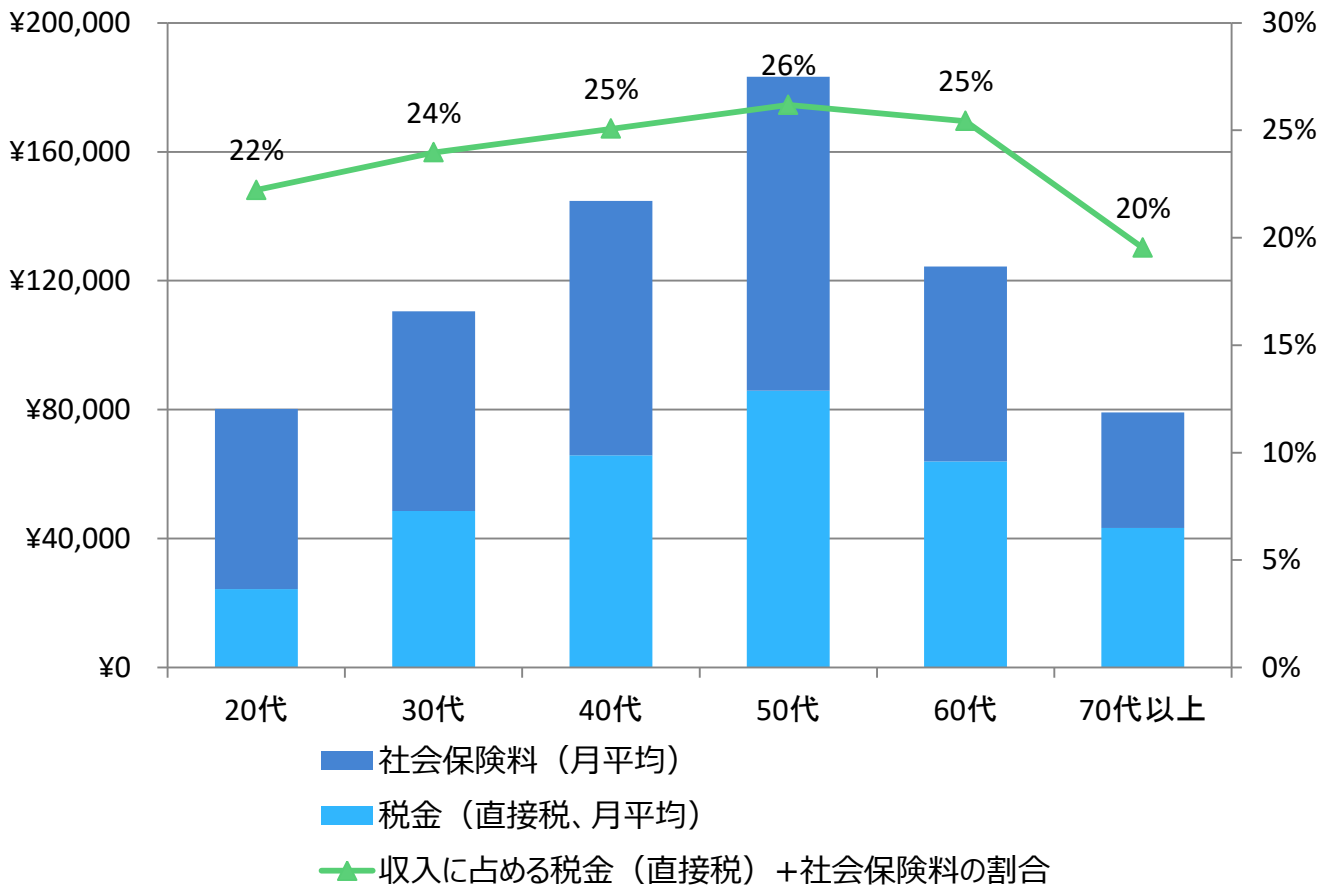




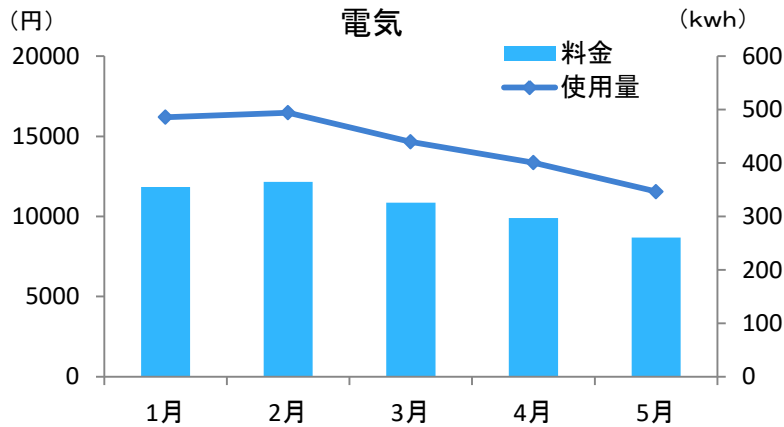
5月分の結果をご報告します。有効回答数は1,067件でした。その内、20代が10件、30代が138件、40代が312件、50代が287件、60代が216件、70代以上が104件でした。今月もご協力頂きありがとうございました！

★★ 4・5月の収入に占める税金・社会保険料の割合（年代別）☆☆

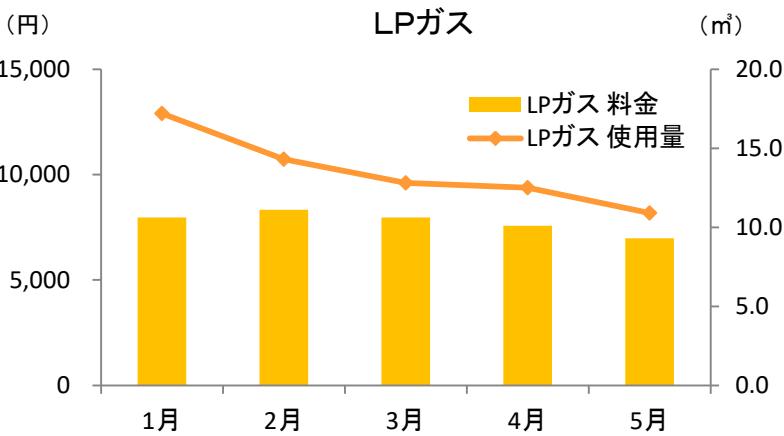
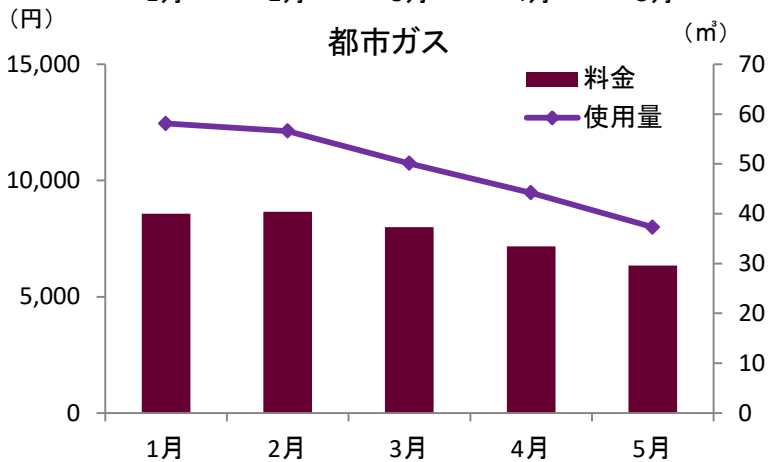


収入のうち税金と社会保険料がどれだけ占めるか、割合を見てみました。年金支給が2カ月に1回であり、月によって収入が大きく変わる年代があることから、4月と5月の金額を合計して分析しています。収入に占める税金（直接税）と社会保険料の割合は20～26%で、50代が一番高くなりました。昨年、8・9月分で同様の調査を行いました。その際は50代と60代とで割合に大きな差がありました。5月では固定資産税の支払いなどもあり60代でも比較的税の負担額が大きかったため、今回の調査では50代と60代の差はあまり見られませんでした。

★★電気・ガス料金と使用量の推移☆☆



電気使用量の平均は346.5kwh、料金の平均は8,673円となり、使用量・料金ともに減少傾向が続きます。都市ガスの使用量平均は37.3m³、料金の平均は6,344円、LPガスの使用量平均は10.9m³、料金の平均は6,986円となり減少傾向となっています。



★★今月の特別支出☆☆

固定資産税
206,400円

伊万里焼の
青磁の燈籠
60,000円

兄妹二人分の
タブレット教材
(年払い)
150,000円

★★収支(総平均・年代別)☆☆

	総合	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
収入計	510,341	366,856	468,663	533,493	730,311	388,340	156,341
支出計	560,405	392,649	482,897	577,796	721,705	478,695	351,795
内消費支出計	365,797	285,159	307,073	369,654	460,244	323,093	267,956
内非消費支出計	194,609	107,490	175,823	208,142	261,461	155,602	83,839
収支	▲ 50,064	▲ 25,793	▲ 14,234	▲ 44,302	8,606	▲ 90,355	▲ 195,454

★★収支(総平均・年代別)☆☆

	総合	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
<収入>							
給料(夫)	419,499	287,079	386,447	427,108	508,134	303,098	142,754
給料(妻)	165,588	191,182	167,922	182,692	157,243	149,861	135,652
賞与(夫)	289,239	0	316,504	275,592	292,804	283,333	0
賞与(妻)	246,521	0	9,312	287,090	558,665	0	0
年金(夫)	158,062	0	29,500	70,760	109,563	154,775	215,515
年金(妻)	93,470	0	71,400	65,008	112,870	81,453	109,512
その他の収入	182,320	16,521	59,963	50,608	376,723	191,446	115,943
<税金>							
所得税(夫)	17,962	8,338	13,278	15,725	24,628	17,069	7,251
所得税(妻)	6,447	8,920	6,339	7,851	7,244	3,360	2,862
住民税(夫)	26,977	12,211	20,712	24,523	34,983	25,820	12,745
住民税(妻)	11,324	6,950	11,903	14,079	10,021	8,782	6,276
その他の税金	68,426	18,467	63,067	66,999	70,457	71,632	66,054
<社会保険料>							
健康保険(夫)	23,198	17,101	18,798	24,212	26,531	20,251	16,114
健康保険(妻)	13,826	10,763	14,265	15,125	14,795	11,716	9,029
厚生年金(夫)	40,563	29,829	35,652	40,659	46,970	31,640	37,058
厚生年金(妻)	24,434	21,960	25,890	26,370	24,022	20,546	19,790
雇用保険(夫)	1,764	1,024	1,385	2,008	1,821	1,431	1,249
雇用保険(妻)	985	697	667	1,579	643	562	844
国民年金(夫)	74,373	15,170	74,182	31,304	94,532	121,503	115,420
国民年金(妻)	97,788	0	11,490	51,262	160,436	98,865	0
国民年金(子)	175,962	0	3,000	199,159	194,841	124,216	0
<私的保険料>							
生命保険	38,752	15,004	46,314	39,004	48,726	28,514	14,655
損害保険	16,348	5,749	9,523	14,086	17,211	24,073	16,529
個人年金ほか	25,507	16,818	22,019	21,659	31,377	29,700	19,093
<消費支出>							
食費	59,139	43,774	46,750	59,588	62,164	62,529	60,321
外食費	13,530	14,522	16,482	14,964	14,009	10,940	8,365
住居費	69,030	69,808	81,157	68,282	83,938	56,285	22,240
水・光熱費	19,140	18,314	17,402	19,538	19,883	19,504	17,526
保健医療費	12,948	27,428	10,060	10,739	11,982	13,587	21,822
通信費	19,072	14,638	13,937	20,463	22,479	18,518	13,725
教育費	99,993	20,172	39,752	85,115	179,101	97,051	17,798
その他の消費支出	142,630	126,811	111,716	121,022	171,847	155,677	137,688

モニターさんからの声

政府が鼻高々と国民に10連休を与えたつもりだが、全く休むこともできず一銭も使うことなく働き続けた大型連休でした。実家が商家だと、とにかく「人様の遊んでいるときは働くもの」と仕込まれたので、ただ黙々と座することもなく働かせていただきました。期間中お仕事の皆さま、お疲れさまでした。

「老後に2,000万円」が現実的な数字として考えられる人は、ごくごく一部の人だけではないでしょうか。

夫の4月支給のお給料から、雇用保険が引かれていなかったのを調べたところ、4月の時点で64歳で雇用されている場合、1年間は免除されると知りました。

長男の学費が家計を圧迫してきました。ある程度の覚悟はしていたものの、働き始めたばかりの私のパート代では追いつかない。10月から幼稚園の保育料が無償化になるまではこの赤字が続くと思うと気が重い。子どもの夢のため、頑張らねば…

高齢者の事故が取りざたされている今、いつまで運転するかで話し合うことが増えた。車に頼った生活をしている今、大きな問題です。とりあえず、75歳をめどに思っている。だんだん淋しくなってくる。

家から出た所で事故。右わきから来た車と衝突してしまった。自分ではブレーキペダルを踏んでいるつもりだったが踏んでいたのはアクセルペダルだった。この私がまさかそんなことをしてかすなんて初めは信じられなかったけれど後で冷静になって考えてみたらやはりアクセルペダルから足を離さずそのままブレーキをかけているつもりで踏み込んでしまっていた。テレビなどで連日、高齢者の起こす事故のニュースをやっているけれどなんでそんなことになるのか不思議だった。自分で起こして初めて納得できた。これからはとととと歳を取って感覚も鈍って行く。十分に気を引き締めていかねばと思った

古い家だから5月は毎年ゴキブリの卵がかえらないように燻蒸処理をし、ホウ酸団子を新たにする費用が掛かります。そんなに虫対策に1万円かかりました。

夫の病気が発覚し思いがけず検査や診察にお金がかかりました。これから治療にかかるお金が心配です。来春には専門学校への進学を希望している次男の学費は月々の積み立てと学資保険で貯めていきましたがいくらかかるかわからない医療費の為に子供には奨学金を利用してもらって自分で返済してもらおうほうがいいのか迷っています。

主人が3月に定年を迎え4月から再任用職員になる予定であるが、このままの家計では無理なので徐々に調整が必須ではあるが、おもいがけない出費に振り回されている状態である。

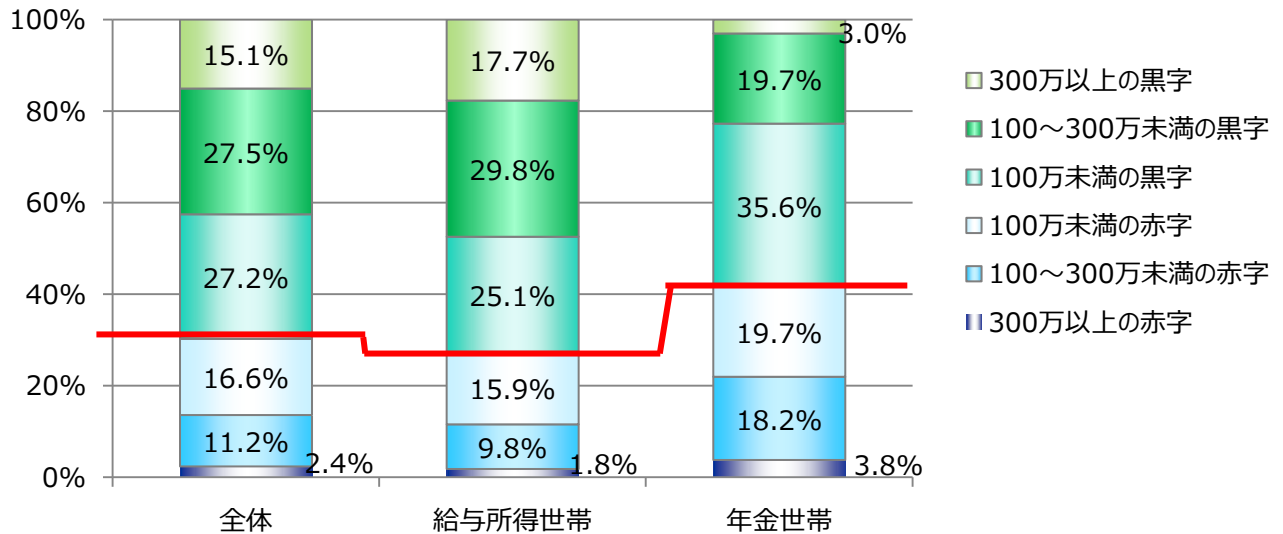
今月から少しでも家計のためにと思い、ラインペイ、ペイペイのキャッシュレスで買い物を始めました。64歳にして新しいことに挑戦し最初はとまどうばかりでした。今は格好良くスマホで支払っています。

今月も赤字。就活中の私は一度不採用が出て就活小休止。体の調子も良くなく、この小休止は神様が与えてくれたものと自分に言い聞かせている。体の立て直しが喫緊の課題か！携帯電話の出費が大きいと以前から日頃思っており、検討しているが格安スマホも含め色々難しい。検討だけで疲れて、これらの契約解除と新規申し込みをする力が湧いてこない。自分だけが動けば良いものでなく名義人である夫に動いてもらわないといけないのが一番の問題。家族全員で動かすとすると契約違約金が馬鹿でかい。政府がこの違約金を1,000円程度に引き下げ競争を促すと言っているがそれを待っての行動が良いのか…頭がいたい。収入を増やせない今は支出をしっかりと考えて対策をとりたいけど…

2019年6月に、公的年金だけでは生活費を賄いきれないため老後資金として2,000万円が必要という旨が記述された報告書が、金融庁で取りまとめられました。このことが各メディアでも大々的に取り上げられたこともあり、老後に向けた必要なお金や年金に対する関心が一層高まっています。

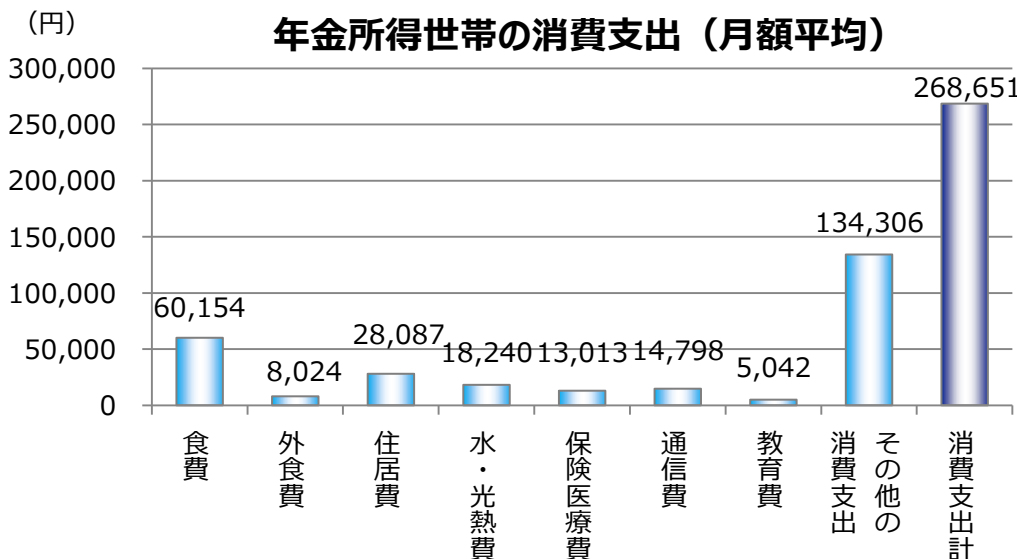
今回、月次報告書の番外編として、2018年の「家計・くらしの調査」のモニターから頂いたデータの中から、年金世帯の方の生活費や収支などを集計し、年金世帯の収支について分析を行いました。分析対象は、2018年の1年間連続で回答いただいたモニターのうち、プロフィールにおいて「世帯の主な収入」に「年金を選択された132名の方のデータです。

主な収入別 年間収支



年間収支が赤字の世帯を合計すると、モニター全世帯では30.2%でした。主な収入別では給料の世帯では27.5%である一方、年金の世帯で41.7%となり、14.2ポイントの差が見られました（上のグラフ）。

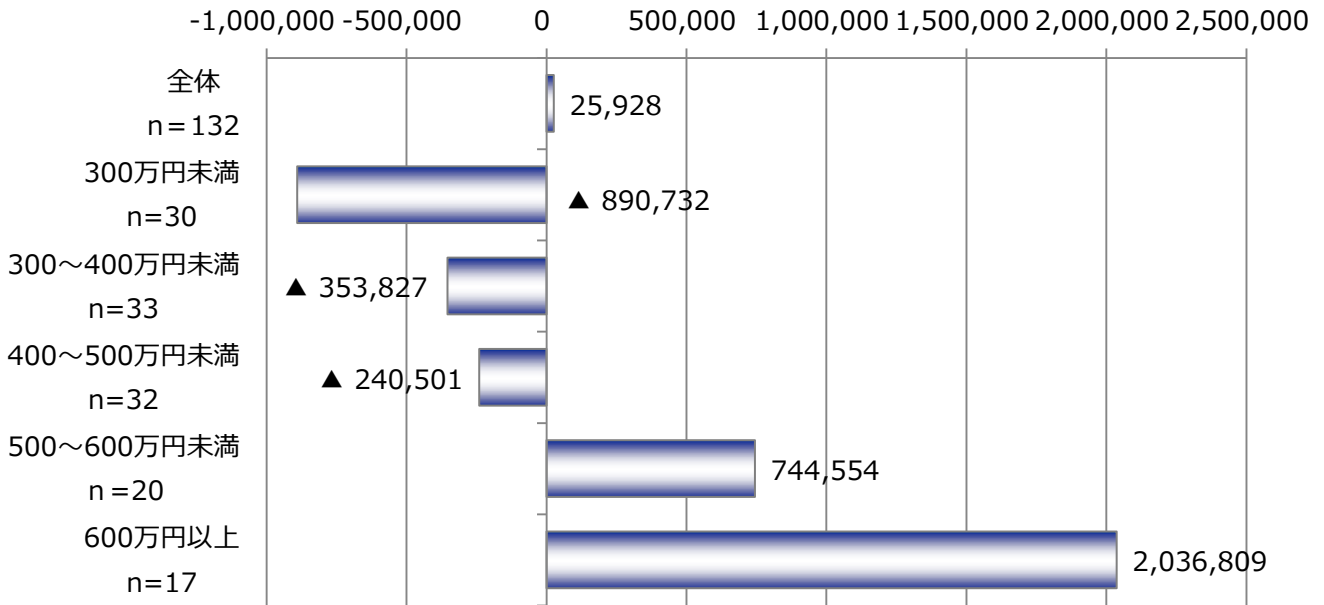
年金所得世帯の消費支出（月額平均）



年金世帯の消費支出の月額平均を見ると、約27万円となりました。費目別では、食費のほか、その他消費支出がかなりの割合を占めていることがわかります（左のグラフ）。

年収別年間収支（年金世帯）

(円)

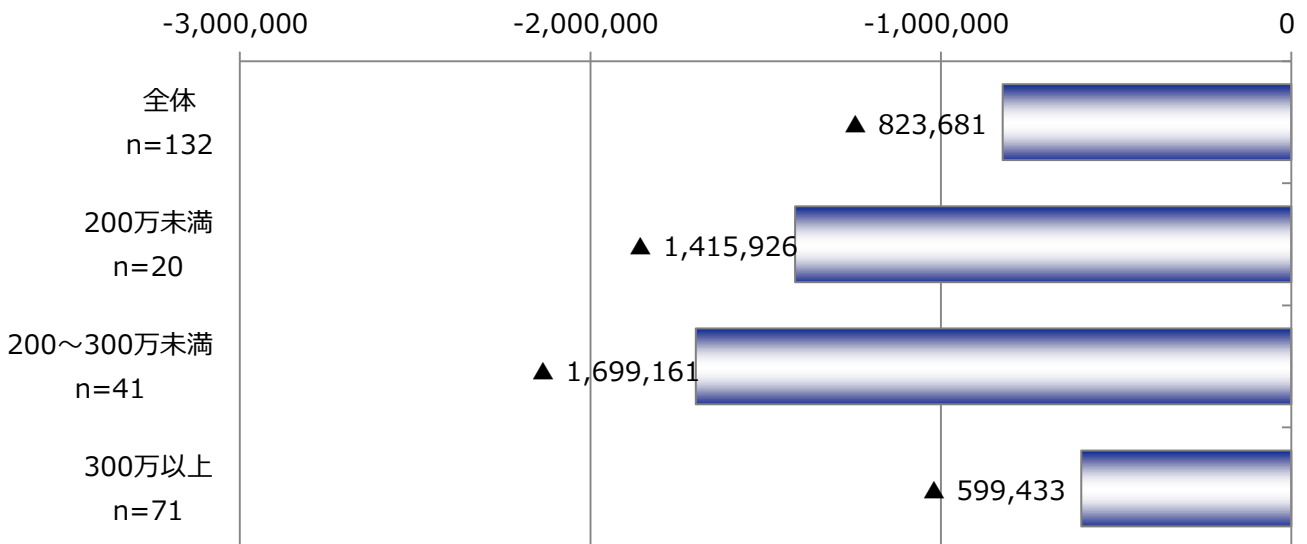


主な収入が年金の世帯における年間収支を所得階層別に見ると、年間の収入が500万円未満の階層では収支が赤字になっているということがわかります（上のグラフ）。ただし、これは「主な収入が年金」であり、年金以外の収入も含めた数値となっています。

主な収入が年金の世帯のうち、収入源を年金に絞って年間収支を所得階層別に見たところ、すべての階層において赤字となりました（下のグラフ）。年金だけでは日常の生活費を賄い切れていないという方々が多いことがわかるとともに、働いて得た収入やその他の収入で生活費を補っていることがうかがえます。

所得（年金のみ）階層別 年間収支（主な収入が年金の世帯）

(円)



※1年間の年金の合計額－年間の支出額 で年間収支を算出。